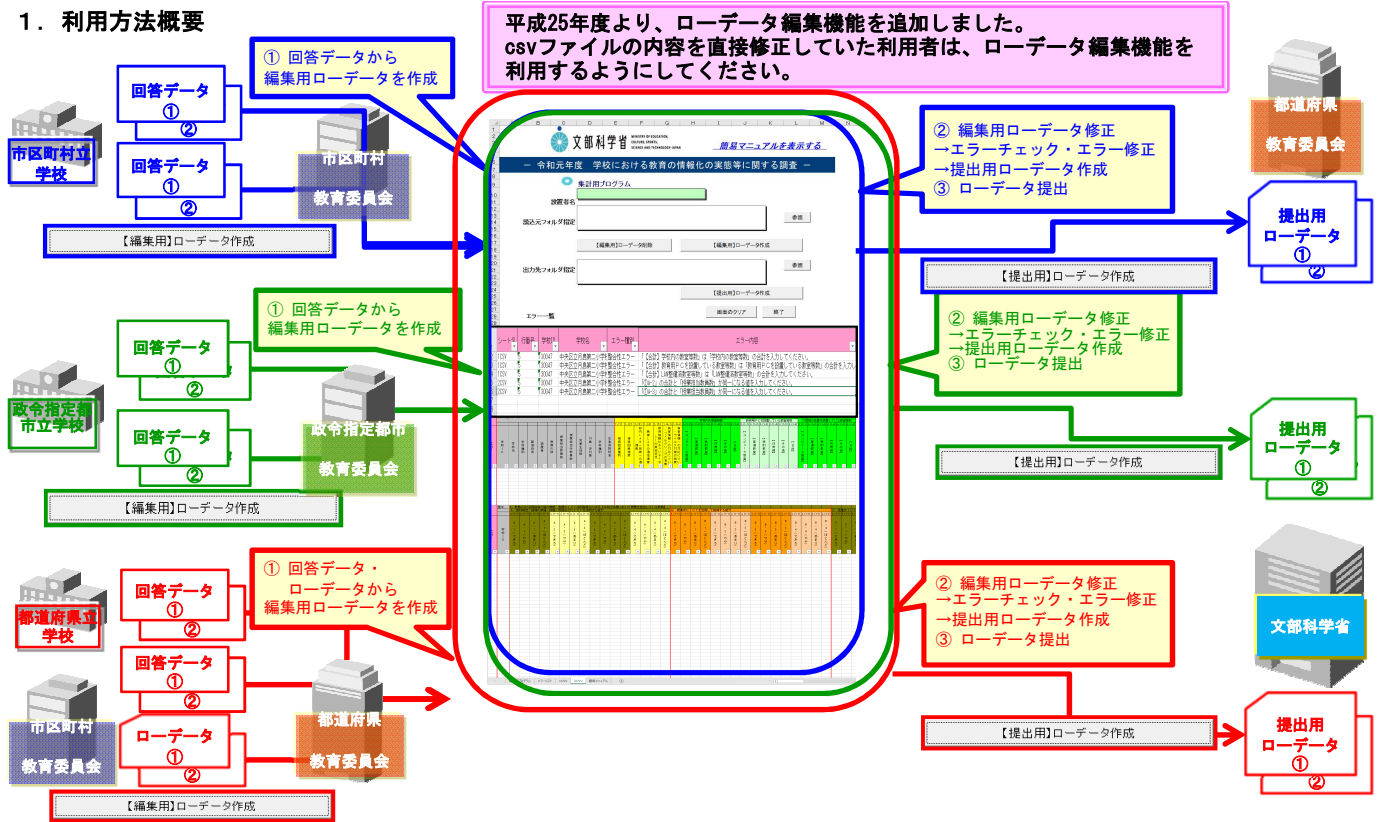
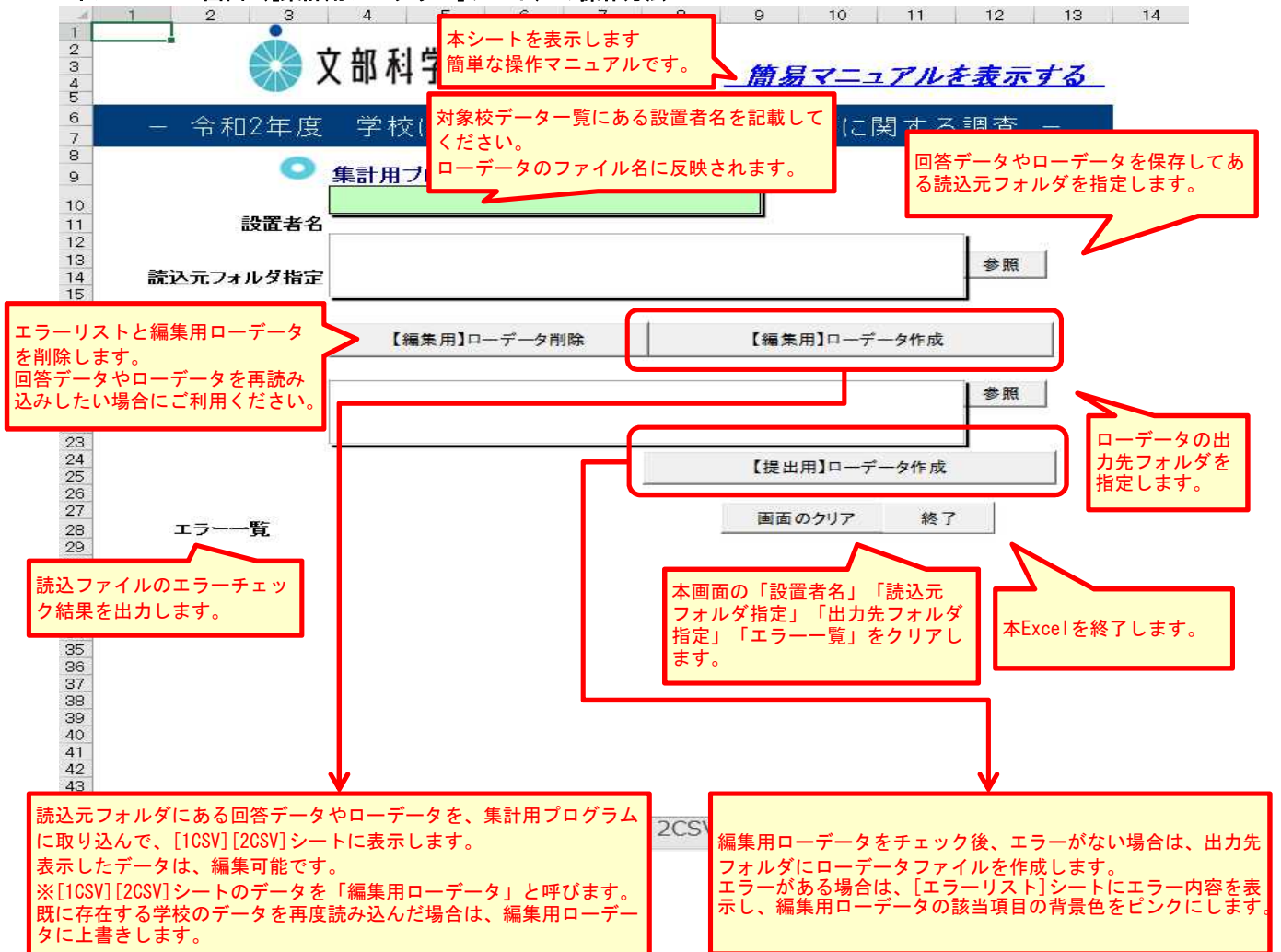


集計用プログラム 簡易マニュアル

1. 利用方法概要



2. メインメニュー画面（[集計用プログラム]シート）の操作方法



集計用プログラム 簡易マニュアル

3. 編集用ローデータ画面（[エラーリスト][1CSV][2CSV]シート）の操作方法

調査項目名称を表示します。

エラーが存在する行に「E」目印を表示し、背景色をピンクにします。

**エラーが存在するセルの背景色をピンクにします。
エラーリストのエラー内容に沿って、正しいデータを入力してください。**

**エラーが存在するデータの「シート名」「行番号」「学校ID」「学校名」を表示します。
エラーが存在するデータを検索するためにご利用ください。**

**エラーの内容を表示します。
エラー項目を修正する際にご利用ください。**

**エラーが存在するセルの背景色をピンクにします。
エラーリストのエラー内容に沿って、正しいデータを入力してください。**

エラーが存在する行に「E」目印を表示し、背景色をピンクにします。

4. データ修正の注意点

- ・編集用ローデータ画面で、行の追加・削除は行えません。
編集用ローデータは、必ず回答データやローデータから作成してください。
- ・既に表示済みのデータを再度読み込むと、学校IDが一致する行を、読み込んだ回答データやローデータで上書きします。
学校IDが一致する行が存在しない場合、末尾の行に追加します。
- ・セルに「」（半角カンマ）と「改行」を入力しないでください。
- ・学校の基本データの内、修正不可の項目は読み取り専用です。編集用ローデータ画面では修正できません。
- ・調査項目名称行にフィルターを設定しています。特定の条件でデータを絞り込みたい時は、フィルターを利用すると便利です。（例：インターネットへの接続状況が[15 未接続]の行のみ表示したい等）
- ・データ行数が多い場合は、「エラー」列で「E」を条件にフィルターをかけると、エラーが存在する行のみ表示されます。
- ・[エラーリスト]に表示されるエラー内容の詳細は、集計プログラムマニュアルの【<参考> エラーリスト一覧（編集用ローデータチェック関連）P19～P22】をご参照ください。